

学界情報

The International Conference on Electric Engineering 2008 July 6 – 10, 2008, Okinawa, Japan

1. 国際会議の概要

ICEE は東アジア 4 カ国の電気学会である CSEE (中国) HKIE (香港), KIEE (韓国), IEEJ (日本) が主催者を持ち回りで担当し、毎年開催されている国際会議である。本年度は IEEJ が主催し、沖縄で開催された。会議場の沖縄コンベンションセンター (写真 1) は沖縄県宜野湾市に位置する。会議場の直ぐ裏にはビーチもあり海水浴客で賑わっていた。また、会期中はこの時期に危惧される台風の襲来もなく、非常に好天に恵まれ、絶好のロケーションと、やや暑いながらも良い天候に恵まれたすばらしい会議であった。海外から参加された方々はもちろん、日本の他地域から参加された方々もハイシーズンの沖縄を堪能されたことと思う。

今回の会議では 18 の国と地域から 589 名の参加者があり、232 件の口頭発表、205 件のポスター発表があり、非常に盛況であった。会議への参加費は一般参加者が 6 万円、学生が 4 万円と、他の国際会議に比べればそれほど高価ではない。参加費にはビュッフェ形式の昼食 3 回と、初日の Welcome Reception, 2 日目の Banquet の費用が含まれており、食事には事欠かず、むしろ安いと感じたほどである。

2. 所感

初日午前の Keynote Speech で取り上げられた通り、近年の地球温暖化対策への取り組みが注目される中、今回の会議でも CO₂ 排出削減や環境対策と言った話題がクローズアップされた会議であった。特に自然エネルギー電源に関連する各種の取り組みに関する報告が数多く見受けられ、この分野への注目度の高さが感じられた。

初日の午後から最終日である 3 日目の午前まで 1 会場を

占有してポスターセッションが開催されていたが、オーラルセッションと同時進行と言うこともあり、参加者はやや少なめであった。しかしポスターの出来映えもさることながら、内容についてもオーラルセッションにひけを取らない内容も散見された。一方のオーラルセッション (写真 2) は初日の午後から 3 日目の午後まで 5~6 会場を用いて開催され、合計 27 のセッションが設けられていた。パワーエレクトロニクスに関連するテーマ、電力システムに関連するテーマ、保護・制御・モデリング等に関連するテーマ、自然エネルギー等分散型電源に関連するテーマなどが設けられていた。類似した技術分野で並行して開催されるセッションも少なく、比較的落ち着いて 1 つのセッションに集中することができるよう、良く配慮されたスケジュールが組まれていたと思う。学生の方々からの発表が比較的多く、発表時間は 15 分とやや短いながらも内容が良く纏められており、活発な議論もなされていた。

また、環境への配慮が一つのキーワードとして掲げられた本会議では、昼食用の食器を自治体の協力を得て大型の食洗機で洗浄して再利用する、ネームプレートのケースを最後に回収するなど、主催者の細かな配慮が随所に見られ、非常に好感が持てる会議であった。また会期中多くの発表を聴講する中で、CO₂ 排出削減に向けた新たな技術への取り組みにも様々なアプローチがあることが感じられ、多くの刺激を受けることができた。また一方で普段の生活の中でできる地球環境への配慮の大切さを再認識させられる有意義な会議であったと思う。

田邊 隆之 [(株) 明電舎]
(平成 20 年 8 月 4 日受付)



写真 1 沖縄コンベンションセンター



写真 2 オーラルセッション